

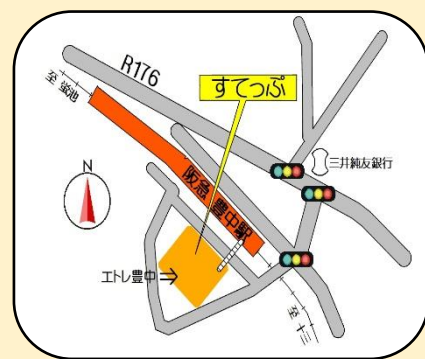
日程・テーマ・講義概要

回	日程	作家・テーマ	講義概要
1	5月15日 (月)	夏目漱石文芸の魅力 『吾輩は猫である』の〈笑い〉	日露戦争のさなか国民を魅了した本作は〈笑い〉の魅力と、漱石文芸の根幹を示しています。
2	6月12日 (月)	自然主義作家・島崎藤村 『破戒』『家』における〈真〉	2023年没後80年の年に代表作品を通して藤村文芸が描く〈真〉を探ります。
3	7月10日 (月)	芥川龍之介文芸と〈死〉 『ひょっとこ』『枯野抄』の主題	早くに人生の黄昏を見た芥川が、死に向き合いながら懸命に問うた芸術の価値を探ります。
4	9月11日 (月)	太宰治文芸の女性像 『ヴィヨンの妻』『眉山』における〈笑い〉	「家庭のマリア」と言われる太宰の晩年に描く女性像の魅力と意義を探ります。
5	10月9日 (月)	川端康成・〈滅びぬ美への信頼〉 『山の音』における再生への希求	戦後文芸の代表作品として「敗戦体験傷痕」からの再生希求を描いた作品の魅力を探ります。
6	11月15日 (水)	文学探訪	芦屋方面
7	12月11日 (月)	梶井基次郎・〈魂の救済〉 『檸檬』『冬の日』一病気との戦い	京都の三高一年生の時肺尖カタルと診断されて31歳まで死と戦い続けた梶井の「命」への思いを探ります。
8	1月22日 (月)	司馬遼太郎の歴史小説 『最後の将軍』の徳川慶喜像	歴史の節目を別決する司馬文芸の幕末への問いかけと慶喜像の魅力を探ります。
9	2月19日 (月)	三浦綾子文芸・〈罪〉と〈救済〉 『裁きの家』『自我の構図』の人間像	私たちの必須の課題「人が人を愛しうるには何が必要なのか」を描いた三浦文芸の魅力に迫ります。
10	3月11日 (月)	遠藤周作文芸の集大成 『深い河』における〈母〉と〈神〉	〈母なるもの〉の無限の信頼とあたたかさ、魂の救済を描いた『深い河』の意義を探ります。

2023年度公開文化講座『日本近代文藝の魅力を探る』第9弾 受講申込書

(ホームページからのお申込み: “⑤4 近代文藝” を選んでお申し込みください)

ふりがな	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女 年齢: 才
名前	生年月日
住所 〒	
電話	携帯



会場アクセス

電話番号は緊急時、連絡用として使用しますので必ずお書きください

お問い合わせ: 講座担当 前田: 090-3273-3840 田中: 090-8821-1700

受付開始: 2023年2月6日から 締め切り: 2023年4月30日
(定員になり次第締め切ります)

認定NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ 事務局 宛
〒560-0021 豊中市本町1丁目3-19 長尾第一ビル2階B号
(郵送、又は事務所へご持参願います) 【電話】 06-6151-4461
ホームページからもお申しいただけます。(URL: <https://oncc.jp>)
(ONCC)で検索できます。



↑ 申込用 QR

ONCC 記入欄	
受付日	
受付番号	